

単位制高校の施設概要

- 1 建設場所 大分市上野丘1丁目
- 2 構造等 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 延床面積約12,000㎡
・教室棟 … 地下1階・地上4階
・体育館棟… 地上4階（3～4階吹き抜け）
- 3 校舎整備費 約35億円（見込み）

4 建物の概要

(1) 配置

- ①敷地が狭く不整形で南北に高低差があり、周囲が閑静な住宅地という条件の中で施設を配置。
- ②駐車場を敷地北側に確保し建物を南側に寄せるとともに、敷地段差を活用し地階を設けた階構成で高さを抑えるなど、近隣住民に対する日照、日影、閉塞感などの影響を最小限に抑える配置。
- ③教室棟と体育館棟を一体的に連続（L型）させるなどにより、施設全体をコンパクトにする中で、食堂、図書室、一部の普通教室は眺望のきく北側に、また、管理的な施設や閉鎖面の多い体育館を南側に配置。

(2) 各階の構成

- [地下1階]・エントランスホールに隣接して事務室と校長室を配置し、柔剣道場と小アリーナの間に広い吹き抜け空間を設け、南向きのロビーから採光する。
- [1階]・西側のエントランスから学生ラウンジ（各階に設置）、食堂、図書室を動線的に配置することで、コミュニケーションの中心とする。
・体育館棟側には、職員室、進路指導室、保健室、会議室等を配置する。
- [2階]・中廊下の両側に、北側は理科系特別教室、南側は家庭科系特別教室、また、東西に面して芸術系特別教室を配置。
・体育館棟は全面アリーナとする（3～4階は吹き抜け）
- [3階]・中廊下を挟んで南北に普通教室、また、東西に面して商業系特別教室を配置。
- [4階]・南側に普通教室を配置。

5 校舎建築のコンセプト

(1) 生徒に優しい校舎

①居住性の確保

- ・開放感を持たせるため、眺望を活かし北側に学生ラウンジ、食堂、図書室を配置。
- ・学生ラウンジの床や廊下、食堂、図書室の腰壁等内装を木質化(県産材使用)。
- ・語らいの場としてゆとりある学生ラウンジのスペースや、明るく眺望が良く、くつろぎの交流の場ともなる食堂。

②人に優しいバリアフリー対応

- ・身体に障がいのある生徒等を想定し、エレベーターや多目的トイレ(各階)等を設置。

(2) 地域に優しい校舎

①日照の確保や圧迫感の軽減など地域住民の生活環境に配慮

- ・敷地の北側を駐車場とし、建物を南側へ配置。
- ・敷地段差を利用し地階を設け高さを抑制するとともに、最上部を一部カット。

②景観に配慮

- ・周囲と調和した色彩

③開かれた学校

- ・図書室、食堂の利用
- ・公開講座

(3) 環境に優しい校舎

①環境負荷とランニングコストの節減

- ・雨水・井水の有効利用
- ・太陽電池パネル式の外灯

②緑豊かな地域との調和

- ・校内植栽

6 工事スケジュール(予定)

- ①平成20年
 - ・通学用新設道路の整備
 - ・校舎建設着工(9月下旬)

- ②平成22年
 - ・2月竣工
 - ・3月開校準備
 - ・4月開校

